

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		25600	水産業総務事務費	予算科目	会計	款	項	目	所管課	農水産課	担当班	振興班
②		(漁業関係団体との連携)		一般	一般	6	3	1				
施策体系	基本施策	1	農水産業の振興	根拠法令	旭市農水産振興事業補助金交付要綱							
	施策の展開	3	水産業の振興	戦略事業	23	漁業関係団体との連携						
	施策の展開			戦略事業								
事業種別												☒ 主な事業 ☒ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない									
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		(1) 旭市農水産振興事業補助金 (1) 水産加工業振興事業補助金(水産加工品PR活動・研修会等経費の一部補助) (2) 沿岸漁業振興事業補助金(旋網船団に対する旋網漁業に係る経費の一部補助) (2) 魚類調査船くろしお号調査負担金(魚類探査等の調査船くろしお運営のための経費の一部負担)									
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状				④ 事務事業に関する課題・環境の変化				⑤ 事務事業に対する住民からの意見等			
漁業従事者の環境は、水産資源の減少や輸入水産物の増加及び景気の後退などによる経営が悪化している。各事業において補助を行うことで経営の安定を図ることを目的として、旧旭市、飯岡町で実施をしていた補助金を合併後も引き続き実施。				平成27年10月に、道の駅季楽里あさひのオープンにより、飯岡漁港で水揚げされた鮮魚・活魚や旭市産の水産加工品が直売されるようになった。				特になし			

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円		単位		28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
1.水産振興事業補助金	320	水産加工業振興事業補助金160	沿岸漁業振興事業補助金160	1. 水産振興事業補助金	千円	320	160	320	320	320
2.魚類調査船くろしお号調査負担金	300	② 特定財源の内訳(1年度の決算)		2. 魚類調査船くろしお号調査負担金	千円	300	300	300	300	300
		単位:千円			千円					
				事業費計 (A)	千円	620	460	620	620	620
				1. 国庫支出金	千円					
				2. 都道府県支出金	千円					
				3. 地方債	千円					
				4. その他	千円					
				5. 一般財源	千円	620	460	620	620	620
前年度増減理由				従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 人						

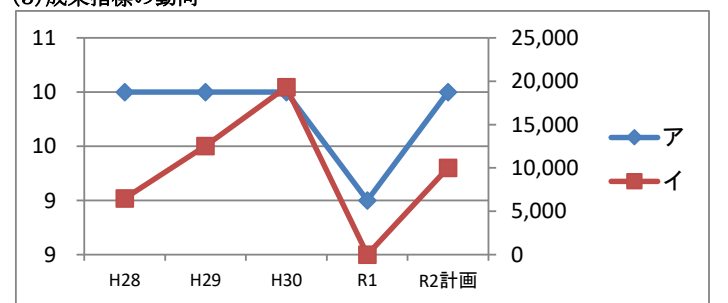
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動		③ 活動指標名		単位	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
	1年度実績(1年度に行った主な活動)					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)
目的	補助金の交付 負担金の支払い		ア 旋網船団の無線使用		隻	20	20	20	21	20
			イ							
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名		単位	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
						(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)
対象意図	水産加工業者		ア 水産物・水産加工品のPR活動や直売		回	10	10	10	9	10
	水産物・水産加工品のPR活動や直売によって販売額が増える		イ ワシ類の漁獲量		t	6,499	12,536	19,316	未公表	10,000
対象意図	旋網漁業従事者									
	漁獲量の増加による所得向上									

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率
	普通	かなりある	下位 1/3
小さい	小さい	ある程度ある	中位 1/3
		ほとんどない	上位 1/3
		評価結果	①
			②
			③
			④⑤
			⑥
			⑦⑧
			⑨

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況														
	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難														
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	向上	横ばい	低下	成果動向	比較	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度
			成果指標イ	成果指標イ	数値増＝成果向上	向上	横ばい	低下		28年度	29年度	30年度	1年度	2計画	
	【コメント】 (低下の場合、その理由)														
	③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容					今後の方向性						
		年度内	水産加工業振興事業、沿岸漁業振興事業補助金を実施する。 魚類調査船くろしお号調査負担金を支払う。						☐ 拡大 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止		☐ 見直し ☐ その他 ()		
											例年通り実施				